



菅生学園報

第6号 2021年新年度号



理事長メッセージ

＝ 学問の独立を考える ＝



理事長 島田 幸成

私が小学生のときでしたが、東海大学創設者の松前重義先生と握手をさせていただいたことを今でも鮮明に覚えています。温かい大きな手でした。

科学者、技術者である松前先生は、戦前ヨーロッパやアメリカを視察。海外の科学技術力の高さに驚きました。戦時中は通信省の事務方トップを務めていましたが、時の東條英樹首相にアメリカと日本の技術力のあまりの違いで、日本は戦争に勝てないと進言。一方、軍部主導で戦争へ舵をきる東條は、自分に目障りな松前先生を二等兵として激戦地に送りました。ひどい仕打ちです。しかし、そんな仕打ちにも屈しない松前先生は奇跡的に生還。戦後は科学技術の平和利用を唱え東海大学を設立するなど教育者、また、政治家として活躍し、現在、松前先生は菅生高校近くの西多摩霊園望星塚に眠っています。

権力に屈しない強い意思、科学の力を信じつつも、その力を過信してはいけないという謙虚な姿勢、思想を持つことが大事だと松前先生は言っていました。菅生学園の創設者島田久はこの松前先生の姿勢、考えに深く共鳴し、先生の理念を実践する場として学園を創設したのです。『汝のパンを水の上に投ぜよ。多くの日の後に汝ふたたび之を得ん』戦後、松前先生達が投じた「パン」は世界中に拡散し、友好的、平和的な国際社会構築に大きく貢献したのです。

昨今、国内外で『学術の独立』を危くする事案が起きています。『学術の独立』が脅かされることは、人々の健康や環境、社会を危険にさらすことにつながりかねません。松前先生がご存命ならこのような状況にどう立ち向かって行ったでしょうか？学問に携わる我々もしっかり考えなくてはならない問題ではと思っております。

菅生のあゆみ

＝ 菅生学問の父母会の歩みについて ＝



副理事長 島田 洋子

今回は菅生学園の父母の会の歩みについて述べたいと思います。

菅生学園の父母の会は、設立以来とても順調な歩みを続けていると思います。とても協力的な父母の会の皆様、そして理事長、校長先生、先生方の働きやすい環境に支えられていることも1つの要因だと思います。

だいぶ前のことですが、電車の中で偶然多摩学院幼稚園卒園児のお母様に会い、その時「娘を菅生学園に入れたい」というご要望を聞きました。その翌年、お嬢さんは菅生の1年生となり、ご夫婦ともに父母の会で活躍し、お嬢さんの卒業後も続けて事あるごとに菅生学園を支えてくださっているのです。

菅生学園の父母の会は、いつまでも限りない繋がりを持ち続けて、菅生学園のために働いて下さる方々が大量に集まることに改めて感謝しています。

目次

1. 理事長メッセージ
2. 菅生のあゆみ
3. 卒業式特集
4. 入学式特集
5. 菅生高校硬式野球部
選抜高等学校野球
大会出場
6. おめでとう！12年・
9年皆勤賞
7. 園長／校長メッセージ
トピック
活動報告
今後の予定
8. 菅生STEAMチャレンジ

編集後記



学びの城の新入生を
満開の桜の花が
迎えました

卒業式特集

多摩学院幼稚園



卒園児 14名 (男児8名 女児6名)

3月13日(土)卒園式が行われ、一人ひとりが園長先生から証書をいただき、将来の夢を発表しました。式に参列できなかった、リトミック・算数・英語・体育・サッカーの講師から映像でお祝いの言葉をいただき、子ども達はとても喜んでいました。年長組で歌詞を考えた「思い出のアルバム」を歌い、子ども達、保護者、職員で一年間の出来事や思い出を振りかえりました。

卒園児は、3年間の幼稚園生活を過ごした充実感と達成感を感じているようで、とても晴れ晴れとした表情をしていました。

菅生学園初等学校



卒業生 15名
(男子4名 女子11名)

初等学校9期生「むすぶ」のみんなは名残り惜しそうに学園を後にしました。保護者の皆さんも満足気でした。

菅生高等学校中部



卒業生 84名
(男子67名 女子17名)

コロナ禍により、在校生は出席できず、式の前日には卒業生に色紙や手紙などを渡す様子が多く見られました。校長先生から卒業証書を受け取る卒業生の姿は立派で、高校進学後の大きな飛躍が期待されます。式が終わった後も、いつまでも仲間どうしで語らう姿が印象的でした。

菅生高等学校



卒業生(36期生) 518名

卒業式は3月9日に行われました。形態は在校生と教職員、吹奏楽部、合唱部が体育館にて新型コロナウイルスの対策を講じて行いました。保護者は原則1名でHR教室で卒業式をライブで観る形にして参加しました。また、当日参加できない保護者用にYouTubeを配信して観ることも可能にしました。

入学式特集

菅生学園初等学校

入学生 31名 元気いっぱいの1年生。1時間の入学式も姿勢を崩すことなく立派でした。



菅生高等学校中等部

昨年に続き、入学式は時間短縮に伴い、予定も大幅に変更されて行われました。新入生代表の前田紗生さんは、中等部で頑張りたいこと、やりたいことなど、一年生みんなの夢や希望もあわせて立派に宣誓をつとめていました。新入生にはのびのびと実り多い学校生活を送ってもらいたいと願います。



菅生高等学校

新緑の眩しい晴天に恵まれて心弾む陽気の中で、39期生入学式は411名の新入生を迎えて本校第一体育館で挙行されました。形態は卒業式と同様に生徒、教職員、吹奏楽部、合唱部が参加しました。また、保護者はHR教室でライブ中継で入学式に参加しました。参加できない保護者のためにYouTubeでの配信も行いました。



菅生高校硬式野球部 選抜高等学校野球大会出場

第93回選抜高等学校野球大会を終えて



<監督 若林 弘泰>

センバツ出場に関して、保護者の皆様また、在校生、卒業生の皆様、教職員の方々等の多大なるご支援ご声援、ご協力ありがとうございます。おかげさまで、センバツ初勝利、ベスト8進出と結果を残すことができましたが、まだまだ課題が残る大会でした。引き続き日本一を目指し精進いたします。今後とも熱い声援をよろしくお願いいたします。

<部長 宮原 上総>

選抜出場にあたり、あたたかいご声援ありがとうございました。選手たちは先輩達が残してくれた“最後まで戦い抜く”という強い気持ちを持ち、選抜初勝利をあげることができました。今後も先輩達が残してくれた財産を大切に成長していきけるような野球部として励んでいきたいと思ひます。今後ともよろしくお願いいたします。

<選手一同>

選抜大会ではあたたかいご声援ありがとうございました。開催されるか不安でしたが、ようやく憧れの舞台上で初勝利をあげることができました。厳しい練習を積み重ね、夏の甲子園で日本一をとれるよう頑張ります。今後とも応援をよろしくお願いいたします。

<メンバー>

1本田俊也 2福原聖矢 3堀町沖永 4小山凌暉 5小池祐吏 6橋本唯塔 7山田聖和 8榮壘唯 9千田光一郎
10櫻井海理 11鈴木泰成 12岩井大和 13沼澤大翔 14松永大輝 15酒井成真 16岩田一真 17鈴木悠平
18多井耶雲 記録員 中政惟久哉

3月24日(水) 第5日 1回戦

東海大菅生 (東京都) — 聖カタリナ学園 (愛媛県)

学校名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
聖カタリナ学園	0	0	0	0	0	0	1	0	2	3
東海大菅生	0	1	2	0	0	0	0	1	X	4



3月27日(土) 第8日 2回戦

東海大菅生 (東京都) — 京都国際 (京都府)

学校名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
京都国際	0	0	0	0	4	0	0	0	0	4
東海大菅生	0	1	1	0	0	0	0	0	3X	5



3月29日(月) 第9日 準々決勝

東海大菅生 (東京都) — 中京大中京 (愛知県)

学校名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
中京大中京	3	1	0	0	2	0	0	0	0	6
東海大菅生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0



おめでとう！ 12年・9年皆勤賞

🌸 12か年皆勤賞 東海大学菅生高等学校 特別進学コース1組 齋藤涼花さん 🌸



齋藤さんは菅生学園初等学校の3期生。中等部を経て、高校の特別進学コースに進み、この3月に卒業されました。学園初の12年間皆勤賞を祝い、理事長賞として図書カードを送り、これを称えました。表彰式には齋藤さんのお母様、担任だった宮崎先生も同席され、12年間皆勤を関係者全員でお祝いしました。

表彰のあと、齋藤さんとお母さまに学園生活の思い出、今後の抱負をうかがいました。

<菅生学園の思い出>

菅生学園の自然環境が大好きです。ゆったりとした環境の中、少人数で学べるのがとてもよかったので、内部進学し12年間の学園生活を選びました。中等部ではバドミントン部、高校では茶道部で活動していました。茶道部では初等学校同期の仲間もいて、とても楽しく活動することができました。12年間の学園生活の中、一番の思い出は校外学習です。また、オーストラリア・パーカーカレッジ校の交換留学生や横田基地の横田ハイスクールの生徒たちとの交流にも積極的に参加し、茶道でおもてなしをしたこともよい思い出となりました。気づいたら12年間皆勤になっていたというのが率直な感想です。

<卒業後に向けて>

卒業後は、駿河大学法学部に進学します。今は自分の興味のあることを学べるのがとても楽しみです。大学ではドイツ語を学べることも楽しみにしています。青梅市がドイツ・ポッパルト市と姉妹都市関係にあったことや、高校の現代文明論でドイツに関することを学んだことでドイツ語に興味を持ちました。将来は法律に関する仕事がしたいと思っています。

<お母様の思い出>

初等学校を選んだのは私自身が菅生高校の卒業生だったことがきっかけでした。娘は未熟児で生まれたので心配しましたが、大病もせず育ってくれて、学園には安心して通わせることができました。初等学校のころはまだ給食がなく、私が作ったお弁当を持っていたいました。その後、高校でも私が作ったお弁当を食べることが多かったと思います。12年間皆勤ということでも、何か特に気を付けたことがあるのではと言われるのですが、無理をさせないということだけを心掛けたと思います。12年間、豊かな自然環境で落ち着いて学ぶことができ、本当によかったと思っています。

初等学校時代からコツコツと努力する頑張り屋さんだったという齋藤さんと、12年間あたたかく見守ってこられたお母様と、お2人の笑顔がとても印象的でした。理事長からは「機会があったらぜひ海外にも行ってみてください。」という励ましの言葉もありました。齋藤涼花さん、お母様、ありがとうございました。将来に向けて力強く羽ばたいて行ってください。

🌸 9か年皆勤賞 東海大学菅生高等学校中等部 特別進学コース1組 山田 心音(みお)さん 🌸



山田さんは中等部では特進クラスに在籍、クラブ活動では吹奏楽クラブに所属し、部長として後輩たちを上手にまとめていました。吹奏楽クラブの部員は、しっかりと挨拶が出来て言葉遣いもたいへん丁寧な模範的クラブであったことから、オープンスクールでは常に手伝い生徒(クラブ)に選出され、大いに菅生の魅力を発信してくれました。その中心的な役割を果たしてくれたのが、部長の山田心音さんでした。

<初等学校の思い出>

入学試験を受けた時にとても緊張していたことは、今でもはっきりと覚えています。学びの城の校舎がとても大きかったこと、設備が大変綺麗で整っていたことに圧倒されたことを思い出します。初等学校の先生方は本当に優しく、楽しい時間があつという間に過ぎていきました。特に低学年の頃は、体を動かすことが大好きだったので運動会をとても楽しみにしていました。

<中等部の思い出>

勉強とクラブ活動の思い出に尽きます。特進クラスに在籍したので、友達と互いに励ましあいながら勉強に取り組みました。特に定期試験前には、メディアセンターで放課後遅くまで勉強したことも良い思い出です。クラブ活動では、クラリネットを担当し演奏しました。私は初心者だったので、新井先生や先輩たちに指導を受けながら、一生懸命に練習を積み重ねました。だからこそ菅生祭での演奏会では、大きな達成感を得ることが出来ました。今までの自分の努力が報われたことが本当に嬉しかったです。またいつも温かく自分を支えてくれる両親への感謝、そして私たちの演奏を聞きに来てくれた観客の皆様への感謝の気持ち、この日を迎えるまでのいろいろな思いが重なって、大変感動的な思い出に残る日となりました。

<高校生活を迎えるにあたって>

私の両親は医療系の仕事をしています。私も両親と同じように、将来は医療系の仕事に関わっていきたくて考えています。私は特別進学コースに在籍しているので、生活の時間配分にも十分に気をつけて、よい学習環境づくりを心がけたいです。もちろん、友人との語らいも大切にして、みんなで目標に向かって共に励んで頑張っていければと思います。

山田心音さん、ありがとうございました。これからも頑張ってください！

多摩学院幼稚園

園長メッセージ



仲野 三千代園長

= 園児の可能性が開くように =

2020年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を入念に実施した年でもあり、教育と保育をより工夫して活動いたしました。子ども達の意識も自然と環境に適応し、行動が出来るように大きく成長をした1年でした。また、教職員一同一丸となり命を守ることの大切さをより深く学びました。

2021年新年度がスタートし、教職員、園児も元気に笑顔いっぱい活動しています。開園51周年目を迎え、日頃からご支援、応援をいただいております皆様に感謝いたします。幼児教育において土台形成、菅生学園一貫校の出発点として、深い学びの充実、幼保初等との連携を踏まえ、特色ある教育に邁進します。

園児はこれから身につけられる豊かな可能性の学びに自分という色の色合いを深め、自分らしい良さがどんどん花開く時期となります。質の高い教育・保育を実践してまいります。教職員は、笑顔と愛情をもって専念してまいります。

トピック

2月5日（金）に作品展が行われました。例年子ども達は保護者と共に登園し、一年間の作品を観覧します。今年度は、子ども達と職員での実施となりました。

クラスに入るといつも生活している場所が作品でいっぱいになり、子ども達は驚いていました。過去に作った作品を見て「描いたね」「これ作ったの覚えてるよ」と思い出しているようでした。また、友だちの作品を見て「上手だね」と言い合ったりして、自分や友だちの良いところを再確認している子もいました。一年間の作品を並べると子ども達の成長が感じられます。

特に目を引くのは、年長組の陶芸、年少・年中組の協同制作です。陶芸は作りたいものを考え、細かいところまで丁寧に仕上げています。お菓子の家や、おもほりなど身近な材料を使い、等身大の素敵な作品が出来上がりました。一生懸命作った作品を友だちや先生にみてもらうことができ、喜んでいました。来年は、保護者と一緒に行える作品展になることを願っています。

作品からは園児の成長がうかがえます

年長：陶芸



年中：お菓子の家



年少：おもほり



活動報告

1 / 5 3学始業式
1 / 22 なわとび大会
1 / 28 防犯訓練
2 / 2 豆まき
2 / 5 作品展
2 / 26 マラソン大会

3 / 3 ひなまつり
3 / 13 卒園式
3 / 15 修了式
4 / 5 1学期始業式
4 / 9 避難訓練
4 / 13 交通安全教室

4 / 14 父母総会
4 / 15 進級対面式
4 / 22 お誕生日会
4 / 23 こいのぼりマラソン
4 / 28 春の多摩学フェスティバル

活動予定

5 / 13 羽村市動物公園親子遠足
5 / 20 お誕生日会
5 / 27 開園記念日
6 / 7 避難訓練引き渡し
6 / 11 内科健診・歯科健診
6 / 17 お誕生日会
6 / 28 七夕仲良し会

7 / 2 身体測定
7 / 3 七夕仲良し会
7 / 14 お誕生日会
7 / 15 年長お楽しみ会
7 / 16 終業式
7 / 19～21 夏祭り

菅生学園初等学校

校長メッセージ



下平 孝富校長

＝ 2021年度は・・・Change before you have to! ＝

2021年度が始まりましたが、相変わらずコロナウィルスの感染拡大に歯止めがかかりません。これまでのウィルスが「変異株に急激に置き換わっている」との専門家の見解もあります。一日も早い終息を願う今日この頃です。

今回の事態は、近年の人類にとって未曾有の事態ともいえます。これまでの価値観が変化してしまっている中、どのような力が必要なのか？この問いに対する解答を考えるに、冒頭の言葉に突き当たります。

小学校時代に肝要なことは、「学ぶ楽しさを失わない」という一点に尽きると言っても過言ではありません。今年度もそんな視点からの教育に注力してまいります。

昨年度は、コロナ禍の影響大ながら、ICT機器やしくみの発達は、リモート型の授業スタイルを可能にし、教員も授業の組み立てを根本から構築しなおす必要に迫られました。そんな中、教職員のスキルが飛躍的に進化した。連日起こる諸問題も迅速な共有により、早期解決がなされました。コロナウィルスの流行を予測したわけではありませんが、時代の変化を予測してICT機器導入に向けた準備が進んでいたからこそその成果だと思えます。今年度も「必要とされる前に予測して適切な変化ができる」学校づくりを目指します。

トピック

第6回多摩産材木工・工作コンクールで最高賞の知事賞を受賞しました。ゆたか委員会の児童6名が3か月かけて、木くずを利用したり、木片を積み上げて流木を表したりと、作りながらアイデアを広げて「鯉川水中ジオラマ」製作。前回は入賞だったので、今回は委員会のメンバーが気合を入れて渾身の力をふり絞り、知恵を出し合って作りました。受賞作品は東京都庁第一庁舎に展示されました。

鯉川の自然を再現しました



活動報告

1 / 22	英語検定	3 / 15	縦割り	4 / 19～23	個人面談
1 / 28	第3回避難訓練	3 / 19	卒業式	4 / 24	学校説明会
1 / 30	漢字検定	3 / 23	修了式	4 / 26	すがめきーF開始
3 / 1	5・6年生 保護者会	4 / 6	始業式	4 / 30	全校遠足
3 / 2	3・4年生 保護者会	4 / 7	入学式		
3 / 3	1・2年生 保護者会	4 / 10	1年生シイタケ植菌		
3 / 4	校外学習	4 / 12～16	保護者会		
3 / 9～12	個人面談 (全学年)	4 / 17	1年生を迎える会		

活動予定

5 / 1	オンライン見学会 (給食・施設)	6 / 26	保護者会 (2・4・5年)
5 / 10～21	オンライン個別相談会	7 / 3	スッガニア・サイエンス
5 / 22	オンライン見学会 (ゆたか)	7 / 6	教員一斉研修会
	保護者会 (6年)	7 / 8～14	個人面談
5 / 29	運動会	7 / 16	終業式
6 / 4	教員一斉研修会	7 / 17	スクールトライアル
6 / 7～11	アフタースクール見学会	7 / 20～22	4・5年生 グリーンスクール (山中湖)
6 / 12	授業参観・蛍の夕べ	7 / 22～23	2年生 御岳宿泊体験
6 / 19	オープンスクール	8 / 24～27	6年生 修学旅行 (京都・奈良)
6 / 22～25	6年生 修学旅行 (京都・奈良)		サマースクール

菅生高等学校中等部

校長メッセージ

下平 孝富校長

＝ 「積小為大」～積み重ねで大きな成果を目指す！～ ＝

コロナウィルスの感染拡大が続く中での新年度のスタートとなりました。今年こそは、コロナウィルスの脅威から解放される年となることを切に願う日々です。

中等部では、今年度から医学・難関大コースが新たにスタートしました。21世紀に即戦力として活躍できる人材づくりを目指したコースで、これまでの菅生学園の積み重ねてきた教育内容に最新のしくみをも取り入れたコース設計になっています。このコースの成否が中等部全体の将来に大きな影響を与えるものと思料いたします。畢竟、学園全体の発展を担う重要な事業だと考えますので、不退転の覚悟で臨みます。

今年の2月の入試では、受験生数が伸びたものの、歩留まりが前年比振るわなかった点に課題を残しました。合格者たちからは、残念ながら「選んでもらえなかった」ということとなります。その点は真摯に受け止めて「選ばれる学校」を目指さねばならないと考えます。これまでも取り組んでまいりましたが、まずは「チャイム着席」の励行により授業に向かう「心」を整えてから、授業内容を授業時間内にきちんと理解するしくみを定着させます。1時間1時間、地道に積み重ねていくことで生徒各人が目標を達成できるようになる。そんな年度を目指します。始業式には、生徒諸君にも「積小為大」の1年にしようという話をいたしました。日々の業務に向かう姿勢は、私ども教職員もこうありたいものです。

トピック

中等部の特色ある行事といえば、毎年12月に行われる「秋川駅前清掃活動」があげられます。中等部の開校2年目より始まった秋川駅前清掃活動は、生徒会役員や美化委員会を中心として有志を募って長く行われてきました。

この活動が始まった25年ほど前の秋川駅ロータリー付近では、吐き捨てたガムがアスファルトにこびりつき、たばこの吸い殻などのゴミが目立った時期がありました。そこで当時の生徒会役員が自分たちにもできるボランティア活動として駅前清掃活動を提案し、今日に至るまで続けてきました。

師走の厳しい寒さのなか、黙々と作業をしていると、道行く方々から温かいお言葉をかけていただくことがあります。そして照れながら受け答えをする生徒の姿を見てみると、私はこの清掃活動を続けてきて本当に良かったと感じます。これからも長く続く中等部の行事であればと願います。

特色ある行事紹介「秋川駅前清掃活動」



活動報告

1 / 9 第4回学校説明会（個別相談会）
2 / 1 第1回入試（午前・午後）
2 / 2 第2回入試（午前・午後）
2 / 4 第3回入試（午前）
2 / 6 第4回入試（午前）
2 / 11 入学準備説明会
3 / 4 地域清掃③

3 / 5 卒業遠足③（八景島シーパラダイス）
3 / 16 中等部卒業式
3 / 18 修了式
3 / 26 新入生招集日
4 / 6 始業式
4 / 7 入学式
4 / 17 保護者会②③

活動予定

4 / 20 校外学習②（横浜・鎌倉）1泊2日 ※延期
4 / 21 校外学習①（静岡三保・東海大学社会教育センター）2泊3日 ※延期
校外学習③（東京グローバルゲートウェイ）
5 / 1 保護者会① ※延期
5 / 8 第1回学校説明会
5 / 13 野草観察① ※延期
5 / 21 第1回塾対象説明会（学びの城）

6 / 2 写生会②
6 / 5 第2回学校説明会
6 / 7 芸術鑑賞教室
6 / 12 第1回理科実験教室
6 / 17～19 授業公開日
7 / 12～17 指名補充
7 / 18 第1回オープンスクール
8 / 25～27 登校日
8 / 28 第2回理科実験教室



峰岸 英仁校長

= たゆまぬ改革 =

本校は「ひとりひとりが調和のとれた考え方ができる賢さを身につけより良い文明社会をつくろう」をめざしています。そのためには、主体的に事象を多面から捉え解釈する経験を積み重ねる必要があります。それを推し進めるために2019年にはChromebookとGoogleのG Suite for Educationを導入しました。さらに、問題解決力を向上させるために学習の過程を重視する観点から「ルーブリック型評価」も取り入れました。この2つの取り組みが相乗効果となって授業改革が前進しています。その成果の一つとして、3月に【Google for Education 事例校】に認定されました。現時点で、日本国内認定されているのはわずか十数校です。今後またたゆまぬ改革を進め、より良い教育の実現に邁進します。

さて、今年度は2つの大きな取り組みがあります。1つは、東京私立中学高等学校協会11支部の支部長校になり、30の私立学校をまとめていくことになります。毎月の支部会や私学助成金獲得のための拡充大会の開催など、かなりの労力が求められます。責務を全うするためには、組織的な取り組みが必要です。

2つ目は、働き方改革関連法に沿った勤務形態になるように、新たな変形労働時間制を導入します。専任教員は、部活動の指導も勤務時間に含められます。勤務できる時間に上限があるため、単位時間当たりの業務の質を高め、業務の効率化を図らなければなりません。各々の役割を明確にするとともに、単なる分担ではなく、それぞれの能力を活かすような有機的なつながりが求められます。このような取り組みにより、教職員の健康と働きがいとさらに向上し、それが本校の発展に繋がると確信しています。

トピック

【Google for Education 事例校】に認定されました。

菅生高校ではICT活用の一環としてChromebookとGoogleのGoogle Workspace for Educationを導入。Chromebookはクラウドにある豊富なWebアプリケーションを簡単に利用できます。また、Google Workspace for Educationというプラットフォームの機能によって、課題の事前配布や小テスト、アンケート調査もWebを通して容易に行えます。Chromebookによって、協働的な学びを推進するためのデータの共有が容易に実現できます。これを機に、より一層ICTを活用した授業改革に取り組んでいきます。

現時点で日本国内で認定されているのはわずか10数校



活動報告

- 4 / 6 始業式
- 4 / 7 学園基礎学力定着度試験対策講座・自宅学習日 入学式
- 4 / 8 学園基礎学力試験対策講座
- 4 / 9 学園基礎学力定着度試験
- 4 / 10 自宅学習日・新1年生ガイダンス日
- 4 / 12 授業開始・特進スタディーサポート
- 4 / 13 健康診断
- ・テニス部 第43回全国選抜高校テニス大会出場
- ・美術部 第20回 佐藤太清賞公募美術展2年齊藤大輝君 板橋区長賞受賞
- ・生徒理科研究発表会 研究発表会
- ・卓球部男子 第48回全国選抜高校卓球大会出場
- ・吹奏楽部 第44回全日本アンサンブルコンテスト金賞
- ・美術部 第32回美術部展開催
- ・硬式野球部 選抜高校野球大会ベスト8
- ・吹奏楽部 第19回ジュニア打楽器アンサンブルコンクール 全国大会最優秀賞
- ・吹奏楽部 首都圏大会 最優秀グランプリ
- ・軟式野球部 春季東京都高校軟式野球大会ブロック予選D ベスト4
- ・関東高校サッカー大会東京予選 ベスト8

活動予定

- 4 / 22 三者面談
- 4 / 24 保護者会
- 5 / 10 ~ 14 郊外学習
- 5 / 15 保護者会
- 5 / 25 ~ 28 定期考査
- 5 / 31 ~ 6 / 19 教育実習
- 6 / 4 スタディーP-S
- 6 / 7 芸術鑑賞教室
- 6 / 9 生徒総会・安全教室
- 6 / 12 GTEC
- 6 / 12 合同相談会
- 6 / 17 東海大学訪問・大学個別相談会
- 7 / 1 ~ 6 定期考査
- 7 / 8 特進：東京ゲートウェイ
- 7 / 13 ~ 15 サマースクール
- 7 / 16 学年会
- 8 / 18 ~ 23 夏期講習

菅生 STEAMチャレンジ (1)

STEAM教育 ⇒S(Science 科学)、T(Technology 技術)、E(Engineering 工学)、A(Art 芸術)、M(Mathematics 数学)
このコラムでは、菅生学園の各園・校が取り組む様々な特徴あるSTEAM教育をご紹介します。
コラム第1回は、この4月にスタートした中等部の医学・難関大コースについてです。



<医学・難関大コース いよいよスタート>

中等部にはこれまでもS組と呼ばれる特進クラスがあります。そこでは、運動部の生徒も含め選抜された生徒が熱心に学んでいます。そして、高等学校には特進コースがあり中等部のS組から進学する生徒もいるのですが、これまでは一貫化のメリットが生かせずにいました。そこで、初めから同じ目標と教育内容を持った6年間一貫のコースとしての「医学・難関大コース」が誕生しました。

社会の急激な変化による要求される能力の高度化の中で、目標の見えない未来に向かうには、目標とする大学に合格する学力をつけるだけでなく、どんな状況でも生き抜く力が必要になってきています。そこで、コースの目標を「世界標準 (Global Standard)」とし、世界に通用する人間作りを目指すことにしました。

具体的には、

- ①AI教材「すらら」を使用し、チュータ等により放課後の学習を計画的にサポート。
- ②e-kagaku 遠隔講座（ロボットプログラミング）を中心としたSTEAM教育の導入。
- ③ケンブリッジ英検にむけた、新しい教授法による英語の授業とDMM英会話で実践的な英語力を養成。
- ④修学旅行としてのヨーロッパ研修旅行を始めとする国内外での異文化理解。
- ⑤学校の立地を生かした環境教育を、東海大学の研究者の指導の下高いレベルで実践。
- ⑥1年次からキャリアサポートを実践し、大学や研究機関での見学や体験学習を実施し、将来の目標に向かって今何をすべきかを知り実践できる行動力の育成。

以上6つのプログラムを柱とした学習をしていきます。



STEAM教育は、Science(科学)Technology(技術)Engineering(工学)Art(芸術)Mathematics(数学)の各分野をプログラミングやIT技術にふれることで「自分で学ぶ力」を養う新しい時代の教育方法です。そして、目標の見えない未来に向かい、どんな状況でも生き抜くために必須の教育内容となります。本校では、数々の実績を残されている国際科学教育協会代表理事の北原達正先生の指導の下、e-kagaku 遠隔講座でプログラミングを始めとするデータサイエンスを学び、落語やクラシック音楽など日本と世界の高い芸術に触れることにより豊かな感性を持ち、時代に適應できる実力を持った人間になることを目標に生徒を育てていきたいと考えています。

今後は、医学・難関大コースの実際の学習の様子などもお知らせしていきます。

編集後記



この春、学園は菅生高校硬式野球部甲子園出場という嬉しいBigニュースに湧きました。初等学校有志も甲子園に応援にかけつけるなど、学園挙げての応援に、硬式野球部は準々決勝進出という素晴らしい成績で応えました。最後まで諦めない戦いぶりは学園全体に勇気を与えてくれました。

そして4月。学園は新入生を迎え、学びの城には初等学校1年生の元気いっばいの声が響いています。中等部の医学・難関大コースも始まり、学園は新しい歴史の1ページを開きました。

コロナ禍はいまだ終息の時が見えませんが、学園のみんなが力をあわせて、児童・生徒の未来のために、また新しい一歩を踏み出していきましょう。